

敬愛
創造
協力



自分 相手 礼儀 時間 もの

町田三中だより

「5つの大切」を心に 登校を楽しみにできる学校

町田市立町田第三中学校

第1号

2026年4月9日

町田三中

検索 

「始業式」と「入学式」

校長 鈴木 英 顕

〇4月6日は始業式を、翌々日の8日は入学式を挙行いたしました。式辞の内容を皆様にお伝えするために、各式でお話したことのあらすじ(要約)を書き記しました。

始業式 式辞 (要約) 4月6日

「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行く
ただひとつの道」野球のイチロー選手の名言です。

受験だろうが、部活の試合やコンクールだろうが、一朝一夕では成功を掴み取れません。

コツコツと弱点を減らし、強みを伸ばす努力をしなければいけないのです。

イチローも、毎日小さな積み重ねを何十年も続けてきたからこそ、あれほどの偉大な記録を達成したのです。具体的な効果を紹介します。

「1.01の法則、0.99の法則」

1を何回かけても、答えは1になります。よって、1の365乗は1です。ところが、1が1.01になると、1.01の365乗は37.8です。逆に、1が0.99になると、0.99の365乗は0.03となります。

これが何を意味しているかというと、例えば、1が通常の自分だとすると、+0.01は努力した自分。つまり、早起きして英単語3つ覚えるなど、ちょっとでもプラスアルファがあれば、それを毎日(1年間=365日)継続することで、1年後には37.8倍に成長した自分がいることとなります。逆に、-0.01は怠けた自分。つまり、早起きしないでいつまでも寝ているとか、部活ばかりで疲れて家で勉強しないとか、ちょっとでもマイナスなことがあって毎日を過ごすと、1年後にはなんと現在の0.03倍になってしまうのです。0.03倍とは、やっていないに等しいです。

37.8は0.03の約1260倍となります。

ちょっとしたがんばりが、1年後には大きな結果をもたらします。1年後、37.8倍の自分になるのか、0.03倍の自分になるのかは、毎日のちょっとした継続で決まります。

日々の違いは目にみえるほどではないかもしれませんが、それを積み重ねることによりとてつもなく大きな違いになっていきます。

「小さいけど、毎日頑張ってみようかな」と思って始めるには、きょうが一番よい日です。どうですか。



始業式の様子

入学式 式辞 (要約) 4月8日

麗らかな朝、三中自慢の学校花壇が見事に咲き誇っています。そんな春のよき日、新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

新入生のみなさんはきょうから三中生です。入学にあたって、期待と不安が入り交じった気持ちでいることと思います。でも、それはみな同じで



8日早朝、誰もいない体育館で「歓迎の言葉」を話す練習をしていた在校生。

す。2年生、3年生はここに参列していませんが、明日から上級生がきっと皆さんの不安を和らげてくれるでしょう。昨日も一生懸命この会場づくりをしていました。この後の誓いの言葉も皆さんの心に留まることでしょう。とにかく、頼りになる上級生です。安心してください。

私からはみなさんに、きょうからすぐに心がけてほしいことがあります。

それは、好きなこと、夢中になれることを見つけてほしいということです。

「好きに勝るものはなし」といいます。好きなことに夢中になると気持ちが充実してきます。

気持ちが充実すると、友だちも自然に増え、勉強や部活動も集中して取り組めるから不思議です。

少し極端な話になるかもしれませんが、「さかなクン」の生き方を紹介します。

「さかなクン」は、好きなことをひたすら追いつけた人です。

「さかなクン」は、静かで目立たないタイプの男の子だったそうです。

恥ずかしがりやで、おとなしい性格。運動は全くダメ。

小学2年生のとき、友だちが書いたタコの絵に衝撃を受けたそうです。

そこから魚に興味をもちはじめ、魚の世界に引き込まれます。

家での夕食は、毎日タコ料理を作ってもらい、魚を調べるため、図書館・水族館・魚屋・寿司屋などに通いつめます。

魚の絵を描き続け、部屋に水槽を置いて、魚の飼い方を猛勉強したそうです。

吹奏楽部を“水槽”学部だと勘違いして入部したという話は有名です。



「歓迎の言葉」を話す新入生代表

また、中学生の時には、カブトガニの人工ふ化を成功させ、地元の新聞に載りました。

逆に、そのことで目立ちすぎて、ヤンチャなグループに目をつけられてしまいました。

「そんなに魚がおもしろいのか」「うん、釣りに行けば分かるよ！」という話になり、ヤンチャグループと一緒に釣りに行くことになったそうです。

しかし、釣りをしているうちに、とても仲良くなったのだそうです。

魚を通じて、どんな人でも味方に変えていきます。

そこに打算は一切なく、好きなものに突っ走っていく…それだけなのです。

好きなものを追いつける純粋さが、「さかなクン」の自分らしい生き方なのです。

国会で海洋問題の意見を述べるときも、国会内では帽子をかぶることが許されないのですが、ハコフグの帽子をかぶることができたという話もこれまた有名です。国会も「さかなクン」らしさを認めたのです。

『「さかなクン」みたいになれたら幸せだろうなあ。』と思う反面、普通はそこまでなかなか真似はできません。でも、自分らしく生きるヒントにはなるはずです。

さあ、三中でいろいろなことに挑戦し、自分らしい好きなものを見つけましょう。

そして、「明日も早く学校へ行きたいな」と思える、充実した毎日になることを願って式辞とします。



2026年 4月 8日 麗らかな日

町田市立町田第三中学校 校長 鈴木 英顕



名まえを呼ばれ起立する新入生

【保護者の皆様】

町田第三中学校校長の鈴木 英顕(すずき ひであき)と申します。

町田第三中学校では、自分らしく、そして自分も仲間も大切にすることを育て、すべての三中生が「5つの大切」を心に「登校を楽しみにできる学校」を目指します。

そのために、あらゆる教育活動を通して教職員一同、お子様の成長を支えてまいります。

何卒、本校の教育活動にご理解とご支援をいただければ幸甚でございます。

1年間、よろしくお願い申し上げます。

町田市立町田第三中学校教職員一同